

これは、特別なケースのようである。

日本の子どもたちは、小学生の時から社会的な職業を断念している。そして、実現しやすい職業に憧れている。

こうした職業に対する「夢」の小ささは、世界で共通でない。日本の子どもだけに言えるのである。

では、なぜ日本の子どもたちは、歴史上の人物は別にして「なりたいたい職業」になると、「夢」はふくらまないのだろうか。

三 「夢」の中に学業成績が影を落とす

これまで紹介してきたデータに見られる子どもたちは、ここ十五年間に関するものである。

この間の子どもたちが育ってきた社会背景を素描すると、次のようになる。

一九七五年頃からマスコミの世界で「乱塾時代」という言葉が登場する。都市部はもとより都部に至るまで、塾・お稽古へ通う子どもが増える。

文部省が一九七六年に初めて、「児童・生徒の学校外学習活動に関する実態調査」を全国的な規模で行う。

この時期の子どもたちの生活リズムは、「週単位」になる。

子どもは大人と同じように手帳を持ち始める。彼らの頭の中には一週間のスケジュールがはっきりとインプットされている。ここに「忙しい子ども」が出現する。

粗くみると、一九六〇年頃までは、子どもの生活はお正月、お盆、お祭りという年中行事でメリハリがつけられていた。

そして、それ以後の一九七四年ぐらいたは、「月単位」の生活リズムであった。

それが、一九七五年以降は生活リズムのテンポが早くなり、「週単位」になる。

だから、この時期になると地域での群れ遊びはほとんど姿を消し、子どもは家の中に閉じこもる。

また、子どもの生活は「勉強」が中心になる。彼らの生活空間は学校と塾・お稽古、それに家庭に限定される。

そうした状況の中で子どもたちは、ますます「学校」という空間に閉じ込められていく。

中世の「囲い込み」ではないが、子どもは「学校」に囲い込められる。

つまり、「子ども時代」を体験しなくなる子どもたちが誕生する。

「学校社会」の判断基準は、学業成績が大きな目安になる。そこでは、「勉強」のできる・できないで、子どもの未来が左右される。

深谷昌志氏の研究によると、学業成績に自信のある子どもは、「自分はまじめで努力家であり、みんなから信頼され、社会的な達成度の高い職業につける」と思っている。

一方、学業成績に自信のない子どもは、

「努力が足りなく、みんなの信頼は薄く、社会的な達成度の高い職業につけない」と思っている。

子どもにとって、学業成績の善し悪しが、期待通りの学歴取得ややりがいのある仕事へのパスポートとなっている。

つまり、子どもの中に「成績モノカルチャー」ができてきている。

そして、そうした「成績モノカルチャー」の恩恵を受けるのは、一部の子どもたちだけである。

学業成績に自信を持つ子どもは、多く見積もっても二割程度である。これでは、多くの子どもが「夢」をふくらませないのは無理もない。

子どもの「夢」をふくらませないという理由には、「真文化」の衰退がある。

子どもの真文化の世界では、学校や家庭とは違った判断基準がある。

「勉強」ができてなくてもけんかが強く統率力があり、遊びがうまいと尊敬される。

ここでは、仲間と一緒に楽しく遊べる者が幅をきかせる。そして、彼らは「生きる力」を身に付けている。

「成績モノカルチャー」の台頭と「真文化」の衰退は、表裏一体をなす。

したがって、子どもが「夢」をふくらませるには、子ども独自の「真文化社会」を復活させなければならない。

ローの意味を確認してみよう。

①英雄。勇士。②スポーツなどで活躍し、賞賛の的となる男性。③小説などの、男の主人公。「対義」ヒロイン。「日本語大辞典 講談社」

この定義によれば、賞賛ではなく笑いの的となる④から⑥のギャグマンガの主人公はヒーローの条件に欠けるようだ。

だが、この表のもとになった少年ジャンプの一号前の五〇号の表紙を飾ったのは、「八五〇回突破記念 こちら葛飾区亀有公園前派出所」の文字と主人公の両さん、こと両津勘吉の笑顔である。850×7+365=4163。実に二六年以上という驚異的な連載期間を誇るのが⑥「こちら葛飾区亀有公園前派出所」。少年ジャンプのマンガの主人公の中で最も長く支持されているキャラクターが「両さん」である。

同じギャグマンガの⑦「ターちゃん」の場合はどうか。連載回数は五一号で二八二回、五年以上続いている。主人公の「ターちゃん」はドジでエッチでお人好し。失敗ばかりして、奥さんのデューンさんは全く頭があがらない。これがギャグマンガである理由。だが他方で、彼は毎回登場する様々(奇想天外?)な敵を圧倒的に強さで迎え撃つ武道家でもある。その強さはジャンプのどの主人公にも負けないであらう。戦いのみをとりあげれば、シリアスなストーリーマンガに属するともいえる。

このような両さんとターちゃんはヒーロー

「子どもの夢」を育てるネタ②

「少年ジャンプ」にみるヒーローの分析

多色刷りの世界と自立する世界

静岡大学教育学部助教授 馬居政幸

特集



一 ジャンプのヒーロー

この表は、少年ジャンプ五十一号(一九九三)に掲載されたマンガの一覧である。①から⑥がストーリー主体のマンガ、⑦から⑩がギャグ主体のマンガ、カッコの中は主人公。少年ジャンプのヒーローとはこの主人公たちのことなのか。手元の辞書でヒー

- ①「こもれ囃の下で」(北崎遠也、サラ)
- ②「DRAGON BALL」(孫悟聖、孫悟飯)
- ③「DRAGON QUEEN」(タイの大岡)
- ④「NINKU」(忍道)
- ⑤「超獣級戦士 ジャスティス」(ジャスティス)
- ⑥「D.N.A.」(何処かへ失したあいつのアイツ)(純生純心)
- ⑦「シメジの奇妙な冒険」(東方校助)
- ⑧「幽遊白書」(浦飯幽助)
- ⑨「SLAMUNK」(桜木花道)
- ⑩「BOY」(白田野郎)
- ⑪「つなな」(前田太徳)
- ⑫「ペンタレース」(山田木)
- ⑬「地獄先生 ぬべー」(鶴野勉介)
- ⑭「アフター」(三ツ矢)
- ⑮「夢幻道士 DREAM MASTER」(四藤太)
- ⑯「こちら葛飾区亀有公園前派出所」(両津勘吉)
- ⑰「新ジャンプの王者 ターちゃん」(ターちゃん)
- ⑱「ボンボン 坂高校演劇部」(正太郎)
- ⑲「ニューラルネットワーク」(三ツ矢)
- ⑳「ムシ」(小島道広)
- ㉑「ムシ」(ムシキーマン)

ではないのか。逆に、ストーリーマンが主人公は全てヒーローなのか。

確かに活躍する舞台と方法は異なるが、①から⑤の主人公は、いずれも最後には勝者となって賞賛される英雄（女傑の場合もあるが）である。だが、①「こもれ陽の下」の北崎達也、⑥「D・N・A」の桃生純太、⑬「ぬいべい」の鶴野鳴介は、両さんやターちゃんと同様、普段の生活では失敗続き、好意を抱く女性にふりまわされるドジなキャラクター。なかには④「忍空」の「風助」や⑫「やまだたいちの奇蹟」の「太一」のように、ヒーローのイメージとはほど遠い風采（顔、体型の絵柄）の主人公もいる。

さらに、⑦「ジョジョの奇妙な冒険」の「東方杖助」、⑧「幽遊白書」の「浦飯幽助」、⑩「ポロイ」の「日比野晴矢」、⑪「ブルース」の「前田太蔵」、⑮「夢幻道士」の「聖魔太郎」、いずれも学校の制服姿で登場する彼らの共通点は、教室の中で睡眠場所になることである。

二 学校の常規の外で

このようなジャンプの主人公（ヒーロー）の典型が、中・高校生に最も人気がある⑨「スラムダンク」の「桜木花道」。題名の由来はバスケットリングの上からボールを直接たたき込むダンクシュート。

舞台は湘北高校バスケットボール部。主人公桜木花道は中学三年間で五十人の女性

にふられ続けたツッパリ（ヤンキー）。

その彼が入学した高校で一目惚れしたのは「赤木晴子」。彼女がすすめるバスケットボール部は、晴子の恋人になりたい一心で入部。そこで晴子の兄（彼女が入部をすすめたのは兄のため）のキャプテン「赤木剛憲」にしごかれ、恋敵のスタープレイヤー「流川楓」と張り合いつつ、バスケットボールの「天才」プレイヤーに成長する過程が物語の縦糸。この面ではシリアスな青春スポーツサクセス物語である。

だが、横糸は晴子の期待に応える（その多くは勘違い）ために、学校の常識（授業のみでなく学校運動部の世界の常識も含めた学校の日常生活を支配するルール）を無視する桜木花道の行動とその過程で生じる彼の心理表現（自己嫌悪と優越感の交錯）とその描写のユニークさ。この面では笑いトーンスの青春人情ギャグマンガ。

すなわち、シリアスなストーリーマンガであろうと、ギャグタッチの一話完結シリーズであろうと、少年ジャンプの主人公に白馬に乗ったナイトやスーパーマンのような二枚目タイプはいない。秀才タイプの模範生もいない。戦いの場面以外は三枚目のキャラクターに近く、学校の勉強が大の苦手、というのがジャンプ主人公（ヒーロー）の最大公約数である。

三 わき役こそヒーロー

ただしこれは主人公のキャラクター。ジ

躍して「ヒーロー」になる物語。互いにマインスマスを補い合い、良さを高め合う多様なキャラクターが織りなす人間模様。主人公の「色」ではなく多色刷りの世界。これがジャンプのヒーローの世界である。

四 男と女の世界への旅立ち

もう一つの特徴がある。ヒーローの相手、ヒロインのキャラクターである。

主人公の男性と異なり、ジャンプマンガに登場する女性の多くはターちゃんや奥さんのデューンさんのようにしつかり者。①「こもれ陽の下」の「サラ」や⑭「アウターゾーン」の「ミザリイ」のように、主人公として男性をリードする女性もいる。逆に、ヒーローに救われ愛される白雪姫的ヒロインはいない。自立した女性が、ヒーローになりきれずに右往左往する男性を叱咤激励する、という男と女の間接関係がジャンプの世界が描く人間模様の一つである。

加えて、ヒロインのパーソンナリティは肝っ玉母さんや口の悪い姐御タイプだが、容姿の描写は中年肥りのオバタリアンではない、いずれも美人でセクシー。その魅力のひきたてた役が男の主人公、いわばプリマを脇で支える男性ダンサー役である。（⑮のジャスティスや⑯の桃生純太が典型）

さらに、ヒロインの役柄は姉、妹、娘、恋人、仲間、先輩、後輩と様々だが、母親がいない。例外は②「ドラゴンボール」の「悟飯」の母チチ。ただし、彼女は父親

ジャンプマンガはわき役に魅力的で個性的な者が多い。たとえば、③「ダイの大冒険」の「ビュンケル」、⑧「幽遊白書」の「蔵馬」のように、冷静沈着で鋭い頭脳と甘いマスクをもった典型的な二枚目のキャラクターが存在する。両さんの後輩の、中川くんもその一人といえよう。

魅力的なのは二枚目だけではない。再び「スラムダンク」を例にとれば、恋敵の流川は一年生レギュラー。女子高校生あこがれのクールな二枚目だが、桜木との関係ではなぜかドタバタ喜劇の相手役に突然変身。ポジションはフォワード。

他のレギュラーも個性的。その代表が三年の赤木主将。ヒロイン晴子の兄だが、あだ名がゴリラ。その名に恥じない迫力ある顔と超高校級の体格+練習による技術+自負心で、初戦敗退組であった湘北バスケット部をインナーハイ出場を狙える位置にまで引き上げた。ポジションはセンター。同じ三年生で頭脳と人柄の良さにより、病気で倒れた監督にかわって陵南高校との試合の指揮をとるのが、「メガネ君」こと、小暮副主将。もう一人の三年生は、中学 MVP シューターに輝きながら、高校入学後の怪我がもとで挫折、一時はツッパリの世界を彷徨ったが、現在は赤木を助けるガードフォワード「三井寿」。汗くさい大男集団で叱咤激励する紅一点、二年生の美人でセクシーなマネージャー「彩子」。その彩子に惚れ込んでバスケット部に入部、ツッ

の「悟空」の幼なじみ、彼の勘違いを理由に押しかけ女房になった武道家である。

対照的なのは日本の子どもが知っている「ドラえもん」の世界。のび太、しずかちゃん、ジャイアン、すねお、いずれも父親と母親が重要な役柄で登場する。

だが週発行部数六百万部の少年ジャンプの世界には母親がいらない。もともと父親はいる。ただし、子どもを守り支える優しい父ではない。巨大な敵との戦いに息子の悟飯を伴って挑む悟空、命を代償に真の勇者のモデルを示したダイの父バルタン（③「ダイの大冒険」）、いずれも息子が越えるべき男のモデルとしての強き父親である。

以上のことから、私はジャンプのヒーローの世界を次のように考える。

学校と母親の世界から解放された場で、様々な敵と戦う過程を通して、少し先を生きる魅力的な男性と女性に助けられながら、多くの友と共に悩み、苦しみ、喜び、感動し、そして恋をして、男の子と女の子が、男と女、として自立する世界を、多種多様なキャラクターにより表現した世界

☆マンガというメディアの特性との関係も含めて、少年ジャンプの世界のより詳細な分析に興味のある方は、拙著「なぜ子どもは「少年ジャンプ」が好きなのか」(スズニオ 徹也) 明治図書) を参照いただければ幸いです。 ☆

「子どもの夢」を 育てるネタ



特集・「子どもの夢」を育てるネタ

◆新製品・モノ・グッズ情報／ハンディなコピー機、プリンター——安達拓一	◆プロの写真術／夏に見られる虫たち(マクロレンズとヘロース、ストロボを使って)——小島裕一	◆クラブアビジュアル情報 大学の授業アルバム(その2)——有田和正	◆ハガキ通信 鈴木義夫・前田真彦・古市正雄・庭野三智／野口芳宏(山内候次郎)／有田和正(山)
◎頭論文 「夢」を自覚させ、努力させる助言を……………野口芳宏			
教育社会学からみた「少年の夢」●少年の夢はなぜふくらまないか……………明石要一			
「少年ジャンプ」にみるヒーローの分析●多色刷りの世界……………馬居政幸			
「遊びへの夢」を育てるネタ●素材と触れ合って遊ぶ……………荒治和幸			
「旅への夢」を育てるネタ●旅のネタは、寝た子も起こす……………野村芳弘			
「仕事への夢」を育てるネタ●夢は自分でつかみ取るもの……………長谷博文			
「生活への夢」を育てるネタ●三十年後のわが家……………大久保幸則			
「冒険への夢」を育てるネタ●冒険する心を讀書で育てよう……………森田 彰			
「ボランティア活動への夢」を育てるネタ●夢を育てる……………福原太一郎			
「未来の学校への夢」を育てるネタ●「過去」を見れば「未来」……………小田原誠一			
「宇宙への夢」を育てるネタ●あなたも宇宙へ行ける……………伊藤誠一			
「スポーツマンへの夢」を育てるネタ●運動するのが楽しい……………松本格之祐			
「芸術家への夢」を育てるネタ● <small>手作りの楽器「パンフルー」で気分を表現する</small> ……………得居不二三			

◆新学力観に立つ授業のネタ 11
 学級活動 まず活動ありきの学級活動を……………渡邊達生 46

リレー連載

国際理解教育のネタ 11	インドネシアのジャンケン……………菅原光敏 50
環境教育のネタ 11	「自動車のゴミの山」から環境学習を……………小林 修 52
障害児教育最新線 11	専門的な情報が集まりやすい養護学校(2)● <small>医療との関わりから</small> ……………梶谷 秀 54
◆わたしが読んで面白かった本(浜田勇一・井出妙子) 56	

常設連載

教師の話し方トレーニング(11) 何を話すか②——主題と話題……………村松賢一 57	
向上的変容を保障する国語教室(11) 面白くて役に立つ授業記述(上)——そのための六つの提案……………野口芳宏 66	
◆追究の鬼を育てる社会科授業(11) 一枚の資料(絵)を読みとる力を鍛える(1)……………有田和正 71	
◆校長実践情報(野口)……………校長先生のお話(上) 62	◆大学の現場から(有田)……………学生のうちから専門的な勉強をしている 64

ファックス特集

◆親子で働く『子どもの夢』	
1年・大きなゆめを ふくらませよう！……………桜木泰自 76	
2年・生活科 わたしのゆめ……………福保雄成 78	
3年・きみの未来は かがやいている……………岸本高樹 80	
4年・10歳になったぼく(わたし)のゆめ……………杉森 至 82	
5年・プラモ・工場見学から子どもの夢を考える(社会)……………柏木英樹 84	
6年・ぼく・わたしの夢！……………外田安生 86	